

令和五年度 上尾市立西中学校入学式式辞

校長 宮田 純生

柔らかな陽ざしを受け、校内の木々の芽が鮮やかに映える今日のおよき日、上尾市立西中学校の第七十七回入学式が、上尾市教育委員会教育総務部長 小田川 史明（おだがわ ふみあき）様 西中学校学校運営協議会の皆様の御臨席のもと、このように厳粛に挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりマスク着用の入学式が続いていましたが、マスクの着用の義務がなく開催できることとなりました。まだまだ予断の許さない状況ではございますが教育活動も感染防止に配慮し進めて参ります。

さて183名の新入生の皆さん、西中学校への入学おめでとうございます。先ほど、担任の先生から皆さんの名前が呼ばれ、元氣よく返事ができました。中学校の制服に身を包み、緊張した様子の皆さんを見ています。中学校生活への期待や意欲が伝わってきます。これからの皆さんの活躍が楽しみになりました。

西中学校の生徒の合い言葉は「西中プライド」自信と誇り、潤いある学校です。この言葉には一人一人が学校に誇りを持ち自信を持って生活しようという意味が込められています。

皆さんが、本校の伝統を引き継ぐとともに、自分のよさを輝かせ実り多い中学校生活を送ることを期待して、2つのお話をしたいと思います。

まず一つ目は、「夢を実現する」ということです。

先日の WBC で優勝した日本代表の大谷翔平選手が大会

で最優秀選手賞を獲得しました大谷選手は高校3年生の時にすでに WBC で日本代表になることと MVP を獲得することを目標にしていました。大谷選手は努力によって夢を実現しています。夢を持つことは誰でもできますが、努力は強い意志を持った自分自身にしかできません。夢を実現するかは君たちの努力次第です。勉強や運動など様々な活動に全力で取り組みましょう。そして頑張っている人を周りも認め励ますことが大切です。そうすることで、本当の力がついてきます。学習や部活動など、様々な活動の中で、先生方はもちろん、2年生、3年生の先輩も皆さんを励まし、支えてくれます。しっかり頑張りましょう。

二つ目は、「全校生徒で力を合わせて、よりよい学校を築いていくって欲しい。」ということです。

みんなが安心して生活できる学校になるためにはみなさんの努力が必要です。新入生の皆さんも、2年生、3年生と力を合わせて、西中学校をさらに素晴らしい学校にしていってください。学校がすばらしくなれば、それは直接皆さんの人生にとってプラスになっていきます。勉強の力も伸びてくるでしょう。また、善悪の判断もしっかりとつき、心豊かな立派な人間になる基礎が身に付いてきます。

それでは、よりよい学校を作るために、皆さんに守ってほしいことを3つお願いします。

1つ目は、どのようなことがあっても話をする、ということ。物事は、話し合っ解決したり決めたりしていきましよう。

2つ目は、相手の立場に立って物事を考えるということ。そして、3つめは、「しっかり学習する。」ということ

です。学校は勉強をしにくるところです。皆さんのように若いうちに色々なことを一生懸命学び、そして脳を鍛え、考える力をつけておくことは、皆さんの一生の大きな財産になります。

最後になりましたが、保護者の皆さん、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。お子様が中学校に入学する姿を見て、感慨もひとしおのことと思います。

子どもたちはこれから新しい生活を始めますが、中学校の三年間は、心の変化の大変激しい時期であります。過干渉でも放任でもなく、ほどよい親子の関係を保っていたきたいと思えます。「親」という字は、「木の上に立って見る」と書きます。つかず離れず、子どもの成長を見守っていたただくようお願いします。温かい家庭こそが、子どもに健全な成長の基礎であることは言うまでもありません。

学校といたしましても、全教職員が心を一つにして、お子様の健やかな成長を支えるよう努力いたします。保護者の皆様方におかれましても、学校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

それでは、本日入学された183名の皆さんが、2年生、3年生の先輩とともに、勉強に、また、部活動に頑張り、心身ともにたくましく、心豊かな中学生になってくれることを期待して、入学式の式辞といたします。

令和五年四月十日

上尾市立西中学校 校長 宮田純生